

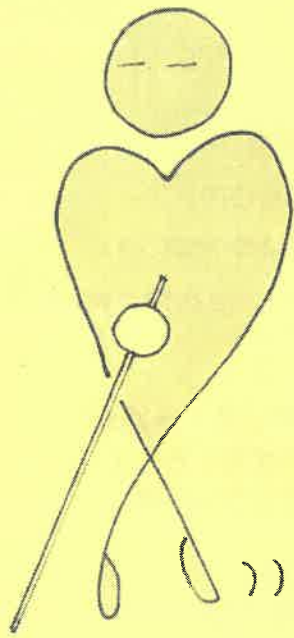
まちのなかで

はくしょう

白杖の人を

見かけたら・・・

どうしたらいいの？

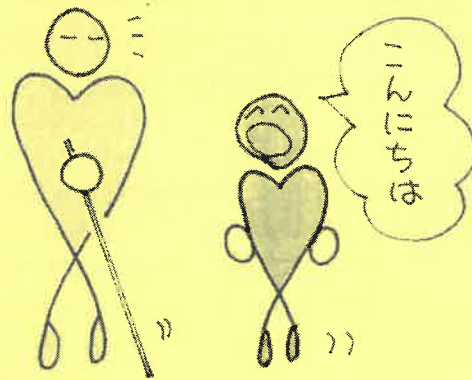


あっ・・・

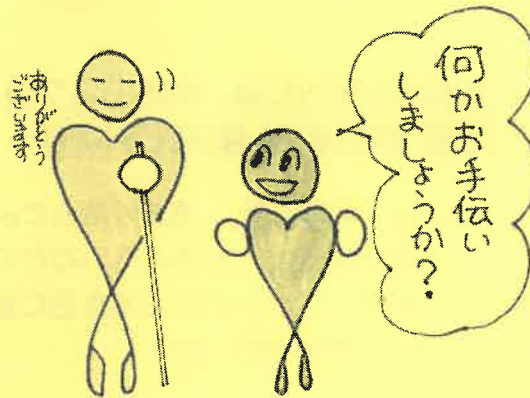


ロービジョン友の会アリス

1. まずは、優しく声をかけてみてください。



2. そして、こうたずねていただけますか？



一人で歩く当事者（目の不自由な人）にとって、街なかで声をかけていただくことは大変ありがたく、うれしいことです。お願いしたいことがあればお伝えします。どうぞ少しの勇気をもってお声がけください。よろしくお願ひいたします。

はくしょう
◆白い杖のことを“白杖”といいます。そして3つの役目があります。

- ① 視覚障がい者の「シンボル」の役目
- ② 障害物から身を守る「ガード」の役目
- ③ 「ハンド&アイ」情報収集の役目

◆白杖または盲導犬を連れて通行しているとき、車両等は一時停止し、又は徐行して、その通行又は歩行を妨げないようにすることとされています。（道交法71条2項）

◆「視覚障がい者」というと、何も見えない（全盲）と思われる方が多いと思いますが、実際は見えにくい方（弱視/ロービジョン）が大半です。

◆視力の低下ばかりでなく、視野が狭くなって部分的にしか見えない方も多く、突然飛び出してきた自転車やお子さんにぶつかることもよくあります。

◆また、暗さやまぶしさの苦手な方もいます。このように「視覚障がい者」といっても様々な“見えない”があることを覚えておいていただくとありがたいです。

♥そして目が不自由でも皆様と同じように、皆様と共に暮らしていきたいと思っています。「障がい者に優しいまちは誰もが暮らしやすいまち」…そう思われませんか？

ロービジョン友の会アリスは

視覚障がい者とその家族、そして共に活動する協力者・支援者のアリスメイトが、対等な立場で交流し、活動しているグループです。

2001年(H13)「ロービジョン友の会アリス」発足

2005年(H17) デイケア施設「ひかりの森アリス」立ち上げ

(※2009年 NPO 法人化、分離独立)

2013年(H25) 事務局機能を市民活動支援センターに置く

目が不自由でも、

よいそってくれる仲間や家族と

楽しいときをすごしましょう



「視覚障がい者」には、大きく二つの「障害」があるとされています

まず一つ目は「情報障害」。情報収集のおよそ9割は視覚から得られているともいわれており、それを失うことによって、日常生活に著しい不自由さ、不便さが生じます。

そして二つ目は「移動障害」。見えづらい、見えないことにより、なかなか自分の行きたいところへ単独で行けなくなってしまう…。

「視覚障がい者」の方の中には、50代60代になられてから目が不自由になられた「中途視覚障がい者」の方も多く、引きこもることも多いのが現状です。

ロービジョン友の会アリス

当会は、「患者会」、「家族会」、「支援者の会」がひとつになり、引きこもりがちになる当事者の方と手を取り合って、対等でより豊かな関係をはぐくみながら、社会参加を積極的に進めています。

活動内容 ♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪ ♪
花見や散歩などの気楽なお出かけ、各種サークル活動、音声パソコン、新年会、副音声付DVD上映会、カラオケ、研修旅行(日帰り・宿泊)、講演会、バリアフリーの街づくり、学校ボランティア、QOL向上のための日常生活用品の紹介、歩行訓練等。

会員募集中

年会費 1000円

(家族会員1名追加ごとに500円プラス)

♥視覚障がい者と共に活動して下さる方のご参加を心よりお待ちしております。

ロービジョン友の会アリス 連絡先
〒343-0816 越谷市弥生町16-1
越谷市市民活動支援センター5階
メールボックスNo.11

Tel/Fax: 048-979-3708

(事務局 090-7725-4949)

e-mail: tomoni01arisu12@gmail.com

URL: <http://lowvision-aris.jimdo.com/>